

引用文献・参考文献

- 青木滋 (1978) : 稗田山崩壊について, 地形, 15 巻 3 号, p.205-214.
- 赤羽貞幸 (2001) : 姫川流域の地形地質特性と地震災害, シンポジウム「糸魚川ー静岡構造線と地震ー住民・専門家・自治体による地震防災をめざして」資料集, p.15-25.
- 浅川関連工事安全技術協議会 (1998) : 水とともに 浅川流域のすがた PARTIV, 32p.
- 生田理弘 (1997) : III 大所地すべりの対策の経緯と効果について, 地すべり学会新潟支部第 25 回シンポジウム, p.19-30.
- 石井正樹・小嶋尚 (1999) : 1995 年 7 月豪雨によって白馬大雪渓上流で起きた堆石堤の崩壊, 地学雑誌, 108 巻, 5 号, p.629-637.
- 石田孝司・石田哲也・杉崎亮太・井上公夫・中根和彦・町田尚久・今村隆正・雨宮圭吾 (2020) : 姫川流域における過去の土砂災害について, 2020 年度砂防学会研究発表会概要集, p.479-480.
- 石橋克彦 (2020) : 文亀元年十二月十日 (1502.1.18) の越後南西部地震で姫川流域・真那板山の崩壊が起きたか?, 歴史地震, 35 号, p.1-4.
- 糸魚川市 (1995) : 姫川大氾濫! 爪跡深く -7.11 水害・被害の概要-, 12p.
- 糸魚川市役所 (1977) : 糸魚川市史, 2 巻, 544p.
- 糸魚川市役所 (1979) : 糸魚川市史, 4 巻, 544p.
- 糸魚川市役所 (1981) : 糸魚川市史, 5 巻, 541p.
- 糸魚川市役所 (1984) : 糸魚川市史, 6 巻, 532p.
- 井上公夫 (1997) : 流域の地形特性と土砂災害, 「1996 年 12 月 6 日蒲原沢土石流調査報告書」, 地盤工学会蒲原沢土石流調査団, p.2-11.
- 井上公夫 (2006) : 事例 3 1502 年? の姫川流域・真那板山の崩壊と天然ダム, 建設技術者のための土砂災害の地形判読 実例問題 中・上級編, 古今書院, p.21-23.
- 井上公夫 (2011a) : 長野県中・北部で形成された巨大天然ダムの事例紹介, -ハケ岳大月川岩屑なだれと姫川・岩戸山の規模地すべり-, 歴史地震, 26 号, p.106-107.
- 井上公夫 (2011b) : 2. 11 姫川右支・浦川の稗田山崩れ (1911) と天然ダムの形成・決壊; 水山高久監修・森俊勇・坂口哲夫・井上公夫編著: 日本の天然ダムと対応策, 古今書院, p.88-103.
- 井上公夫 (2012) : 越後南西部地震 (カルテ No. 4-1), 日本地すべり学会編: 地震地すべり, -地震地すべりプロジェクト特別委員会の総括編-, 付属資料 1 歴史地震による大規模土砂移動カルテ表.
- 井上公夫 (2018a) : コラム 15 1502 年の姫川流域・真那板山の崩壊と天然ダム, 歴史的大規模土砂災害地点を歩く, 丸源書店, p.99-104.
- 井上公夫 (2018b) : コラム 16 1714 年の信州小谷地震による姫川・岩戸山の天然ダム, 歴史的大規模土砂災害地点を歩く, 丸源書店, p.105-111.
- 井上公夫 (2018c) : コラム 17 豪雨 (1757) による梓川上流・トバタ崩れと天然ダム, 歴史的大規模土砂災害地点を歩く, 丸源書店, p.112-117.
- 井上公夫 (2018d) : 歴史的大規模土砂災害地点を歩く, 丸源書店, 263 p.
- 井上公夫 (2019a) : コラム 35 姫川左支・浦川の稗田山崩れ (1911) と天然ダムの形成・決壊, 歴史的大規模土砂災害地点を歩く (その II), 丸源書店, p.51-65.
- 井上公夫 (2019b) : 歴史的大規模土砂災害地点を歩く, (その II), 丸源書店 305 p.
- 井上公夫・鈴木比奈子 (2013) : 2. 4 信州小谷地震 (1714) による姫川・岩戸山の天然ダム, 水山高久ほか: 日本の天然ダムと対応策, 古今書院, p.52-57.
- 井上公夫・屋木わかな・北原哲郎・判田乾一・吉田俊康・野村昌弘・境和宏 (2012) : 1911 年の姫川・稗田山崩れによる天然ダムの形成・決壊ー上・下流域への影響と土地利用状況の変遷ー, 平成 24 年度砂防学会研究発表会概要集, p.616-617.
- 井上穎績 (1983) : 『来馬村災害変遷図』, 図葉 (A1 判) 1 葉.
- 井口隆・八木浩司 (2011) : 発生後 100 年を迎えた稗田山の崩壊地形, 空から見る日本の地すべり地形シリーズ-19, 日本地すべり学会誌, 48 巻 4 号, 口絵, 本文 p.35-37.
- 井口隆・八木浩司 (2012) : 越後南西部地震 (1502 年) による真那板山の崩壊地形, 空から見る日本の地すべり地形シリーズ-23, 日本地すべり学会誌, 49 巻 3 号, 口絵, p.1-3. 本文 p.52-54.
- 猪又律子 (1994) : 稗田山崩壊記録.
- 上野将司 (2009) : 姫川流域の地すべりダム, 2009 年度日本地球惑星科学連合大会予稿集, Y229-005.
- 上野将司 (2010) : 姫川の斜面変動, 糸魚川ジオパークを横目に見て, 299 回資源セミナー講演資料
- 上野将司・藤田勝代・横山俊治 (2012) : ジオ鉄でめぐる姫川流域の斜面変動, 平成 24 年度応用地質学会研究発表会講演論文集, p.73-74.
- 宇佐美龍夫 (1996) : 新編日本被害地震総覧増補改訂版 416-1995, 東京大学出版会, 493p.
- 宇佐美龍夫 (2003) : 最新版日本被害地震総覧[増補改訂版], 416-2001, 東京大学出版会, 605p.

- 宇佐美龍夫・石井寿・今村隆正・武村雅之・松浦律子（2013）：日本被害地震総覧 599-2012，東京大学出版会，694p.
- 内山卓郎（1999a）：蒲原沢土石流事故は天災ではない（上） 砂防学会報告書と学者の責任，世界，600号，p.294-308.
- 内山卓郎（1999b）：蒲原沢土石流事故は天災ではない（下） これは「長野五輪災害」ではないか，世界，601号，p.278-291.
- 多里英・公文富士夫・小林舞子・酒井潤一（2000）：長野県北西部，青木湖の成因と周辺の最上部第四紀層，第四紀研究，39巻1号，p.1-13.
- 尾沢建造・杉本好文・高橋忠治（1975）：北アルプス小谷ものがたり、信濃路，243p.
- 小谷村観光協会：塩の道紀行パンフレット，小谷村観光協会.
- 小谷村誌編纂委員会（1993a）：小谷村誌，歴史編，538p.
- 小谷村誌編纂委員会（1993b）：小谷村誌，社会編，897p.
- 小谷村誌編纂委員会（1993c）：小谷村誌，自然編，660p.
- 小谷村教育委員会（2007）：調査報告書 小谷の神社・仏閣，113p.
- 小谷村梅雨前線豪雨災害記録編集委員会（1997）：平成7年7月11日発生 小谷村梅雨前線豪雨災害の記録 ―この体験を語り継ぐ，110p.
- 小谷村役場広報委員会（1995）：広報 おたり 平成7年7月.
- 小谷村 HP
<https://www.vill.otari.nagano.jp/www/contents/1001000000196/index.html> (参照 2020-03-23)
- 株式会社みすず総合コンサルタント（2009）：平成21年度国補通常砂防に伴う調査委託（(砂)宮沢 小谷村 大草連(3)).
- 株式会社みすず総合コンサルタント（2018）：平成29年度特定緊急地すべり対策事業に伴う調査業務（(地)八方岩地区北安曇郡小谷村八方岩).
- 川上浩（2010）：山が動く 土が襲う 長野県の土砂災害，信濃毎日新聞社，202p.
- 北安曇誌編纂委員会（1980）：北安曇誌，1巻，自然，1161p.
- 北安曇誌編纂委員会（1984）：北安曇誌，5巻，近代・現代，下，1373p.
- 気象庁：過去の気象データ，<https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>，
 (参照 2020-03-23)
- 北沢秋司（1980）：姫川中流域の地すべり及び崩壊について，地すべり，17巻3号，p.12-21.
- 北澤秋司（1984）：稗田山大崩壊および浦川土石流の巡検記録，地形，5巻3号，p.248-255.
- 記念誌編集委員会（1992）：姫川砂防事務所開設50周年記念誌，長野県姫川砂防事務所・長野県治水砂防協会姫川支部，180p.
- 経済安定本部資源調査会事務局（1949）：『日本気象災害年報－1900年より1947年まで－』，中資源調査会資料17号，172p.
- 建設省土木研究所砂防部（1995）：平成7年7月11日～12日長野県・新潟県豪雨による土砂災害（速報），新砂防，48巻，3号，p.42-47.
- 建設省土木研究所砂防部・長野県土木部（1996）：平成7年7月梅雨前線豪雨 姫川流域における土砂災害と警戒避難の実態，28p.
- 建設省土木研究所新潟試験所（1992）：大所川巨礫調査報告書，土木研究所資料，62p.
- 建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所（1999）：葛葉法面対策技術検討会（第2回）現地踏査資料，資料-1，資料-2.
- 建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所（1992）：そして、未来へ……。姫川流域の発展に寄与する砂防事業，84p.
- 建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所（1999）：葛葉山腹工検討業務報告書，1，2（日本工営株式会社）.
- 建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所（1968）：信濃川姫川水系砂防調査報告書（第3回）委託調査編，241p.
- 建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所（1975）：技術資料 NO.5 焼岳・浦川における土石流調査関係資料集.
- 建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所：豊かな自然の中で過去から未来へ，姫川水系松川の砂防事業，51p.
- 国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所調査課（2006）：浦川の災害の歴史を語り継ぐために ～復刻版～，82p
- 小合澤辰夫（1996）：平成7年姫川の土砂流出，第28回砂防学会シンポジウム講演集，p.63-86.
- 小嶋尚・石井正樹（1996）：真那板山の崩壊と姫川の堰止め，日本地理学会予稿集，49号，p.192-193.
- 小嶋尚・石井正樹（1998）：長野県北部真那板山の崩壊と姫川の堰止め，駿台史学，105号，p.1-18.
- 小池直太郎（1922）：小谷口碑集，204p.
- 小出博（1955）：日本の地汙り－その予知と対策－，259p.
- 幸田文（1991）：崩れ，講談社，165p.，（1994）：講談社文庫，206p.
- 国際航業株式会社（2013）：既往災害に対する整備効果検証業務報告書.
- 国際航業株式会社：平成7年7月信越豪雨災害の概要，20p.
- 国土交通省：平成26年の土砂災害，http://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/h26dosha/150331_H26saigai.pdf,

- (参照 2020-03-23)
- 国土交通省水管理・国土保全局砂防部 (2012): 深層崩壊に対する国土交通省の取り組み
 国土交通省水管理・国土保全局 (2019): 河川データブック 2019, 688p.
 国土交通省: 砂防施設による被害軽減事例 (平成 28 年台風 9 号),
http://www.mlit.go.jp/river/sabo/jirei/h28dosha/160824_sisetsukoukajirei_sorasawagawa.pdf,
 (参照 2020-03-23)
- 国土交通省: 参考資料 4-1 姫川水系の特徴と課題,
https://www.mlit.go.jp/river/shinngikai_blog/shaseishin/kasenbunkakai/shouinkai/kihonhoushin/080319/pdf/ref4-1.pdf, (参照 2020-03-23)
- 国土交通省北陸地方整備局 (2007): 河川事業の再評価説明資料 [姫川直轄河川改修事業], 28p.
 国土交通省北陸地方整備局 (2011): 河川事業の再評価資料 [姫川直轄河川改修事業], 25p.
 国土交通省北陸地方整備局 (2015): 姫川水系整備計画[国管理区間], 86p
 国土交通省北陸地方整備局 (2016): 砂防事業の再評価説明資料 [姫川水系直轄砂防事業], 14p.
 国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 (2003): 松本砂防管内とその周辺の土砂災害, 48p.
 国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 HP
<http://www.hrr.mlit.go.jp/matamoto/contents/main/15/jigyuu03.pdf> (参照 2020-03-23)
- 国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所 (2011): 崩れ～稗田山崩壊から 100 年～, DVD, 製作 SBC 信越放送.
 国土地理院応用地理部 (2019): 先人が伝える災害の教訓「自然災害伝承碑」を地図で発信～新たに地図記号「自然災害伝承碑」を制定し災害教訓の周知・普及に取り組みます。～, 河川, ニュースと話題, p.132-134.
 国立防災科学技術センター (1987): 松代群発地震資料 (5) 長野県における被害地震資料集, 防災科学技術研究資料, 119 号, 243p.
- 小林規朗 (2011): 崩れの谷 稗田山大崩壊以来 100 周年, 161p.
 齋藤瑞穂・山岸洋一・竹之内耕・パレオ・ラボ AMS 年代測定グループ (2018): 長野県北安曇郡小谷村北小谷下寺試掘調査報告-正徳 4 年 (1714) 信濃小谷地震の考古学的研究-, 災害・復興と資料, 10, p.24-37.
 佐々木慶三・中村真也・周亜明・宜保清一 (2001): 姫川メランジェの大規模地すべりの発生機構についての検討, 地すべり, 37 巻 4 号, p.24-32.
 筈本正治 (1998): 災害文化と伝承-長野県小谷村の土石流災害と伝承-, 京都大学防災研究所年報, 第 41 巻, B-2, p.63-75.
 筈本正治 (2017): 災害と牛の伝説: 牛伏の寺名から, 長野県立歴史館紀要, 23 号, p.3-16.
 佐藤一幸・井上公夫 (2000): 砂防事業の社会経済効果の評価-姫川左支平川流域を事例として-, 砂防学会誌, 52 巻, 6 号, p.38-48.
 産業技術院総合研究所地質調査総合センター (2000): 糸魚川静岡構造線ストリップマップ.
 産業技術院総合研究所地質調査総合センター (2010): 20 万分の 1 日本シームレス地質図, 基本版.
 信濃川上流直轄砂防百年史編集委員会 (1979): 松本砂防のあゆみ-信濃川上流直轄砂防百年史-, 893p
 地震調査研究推進本部: 長野県の地震活動の特徴,
https://www.jishin.go.jp/regional_seismicity/rs_chubu/p20_nagano/ (参照 2020-08-25).
- 信濃教育会北安曇部会 (1930a): 北安曇郡郷土誌稿, 1 輯. 口碑傳説編, 第 1 冊, 198p.
 信濃教育会北安曇部会 (1930b): 北安曇郡郷土誌稿, 2 輯. 口碑傳説編, 第 2 冊, 191p.
 信濃教育会北安曇部会 (1937): 北安曇郡郷土誌稿, 7 輯. 口碑傳説編, 第 3 冊, 293p.
 信濃教育会北安曇部会 (1979a): 北安曇郡郷土誌稿, 1 輯. 口碑傳説編, 第 1 冊, 198p.
 信濃教育会北安曇部会 (1979b): 北安曇郡郷土誌稿, 2 輯. 口碑傳説編, 第 2 冊, 191p.
 信濃教育会北安曇部会 (1979c): 北安曇郡郷土誌稿, 7 輯. 口碑傳説編, 第 3 冊, 293p. 地盤工学会・土木学会地盤工学会委員会 平成 26 年 11 月長野県北部を震源とする地震合同調査団 (2015): 平成 26 年 11 月長野県北部を震源とする地震 (長野県神城断層地震) 災害調査報告書, 239p.
 清水俊美・三戸部太一・澤井雄介・館野拓海 (2017): 蒲原沢土石流災害から 20 年を踏まえた取り組み.
 社団法人地盤工学会蒲原沢土石流調査団 (1997): 1996 年 12 月 6 日蒲原沢土石流調査報告, 50p.
 上越市史編さん委員会 (2002): 上越市史, 資料編 3, 古代・中世, 753p.
 常法寺案内冊子
- 白石秀一 (1997): II 姫川流域の地質と斜面災害, 地すべり学会新潟支部第 25 回シンポジウム, p.13-18.
 信州大学山岳科学研究所 (2015): 2014.11.22 地震 信州大学緊急調査報告書, 130p.
 信州大学震動調査グループ (2017): 「2014 年長野県北西部地震」の震度分布と特徴-2 万 6 千人が明らかにした揺れの影響と教訓- (大規模住民アンケートから), 163p.

- 信州大学震動調査グループ (2018) : 長野県白馬村神城堀之内地区における地震被害調査研究報告書, 141p.
- 杉本好文 (1984) : いにしえの里 小谷, 266p.
- 鈴木比奈子 (2012) : 正徳信州小谷地震 (カルテ No. 12-1), 日本地すべり学会編: 地震地すべり, -地震地すべりプロジェクト特別委員会の総括編-, 付属資料 1 歴史地震による大規模土砂移動カルテ表.
- 鈴木比奈子・苅谷愛彦・井上公夫 (2009) : 正徳四年 (1714) 信州小谷地震における岩戸山崩壊とそれによる塞き止め湖の浸水範囲, 第 48 回日本地すべり学会予稿集, p.63-64.
- 鈴木比奈子・苅谷愛彦・井上公夫 (2013) : 1714 年信濃国小谷地震による岩戸山地すべりと姫川天然ダム, 2013 年日本地球惑星科学連合大会, H-DS27-05.
- 建設省北陸地方建設局高田工事事務所: 洪水記録 7. 7. 11 を振り返る, 422p.
- 高野秀夫 (1960) : 地すべりと防止工法 訂正版, 314p.
- 高野秀夫・新潟縣 (1952) : 地這り現象の研究.
- 高橋路輝 (2019) : 年間数m移動する「青ぬけ地すべり」の活動と対策-蛇紋岩地帯の地すべり-, 2019 年度 第 47 回 地すべりシンポジウム 「新潟の地すべりに見られる特異な現象」.
- 高橋義彦 (1971) : 越佐史料 (巻三), 名著出版, 888p., 文亀元年 (1502), p.35-445.
- 竹下敬司・鈴木隆介・平野昌繁・諏訪浩・石井考行・奥西一夫 (1984) : 巨大崩壊と河床変動に関する総合討論の記録, 地形, 5 巻 3 号, p.231-247.
- 田中欣一 (1973a) : 白馬小谷研究, 創刊号, 85p.
- 田中欣一 (1973b) : 白馬小谷研究, 2 号, 65p.
- 田畑茂清・水山高久・井上公夫 (2002) : 天然ダムと災害, 古今書院, 口絵, 8p., 本文, 206p.
- 茅原和也 (1979) : 姫川流域の崩壊-特に蛇紋岩地帯の地すべり, 昭和 53 年度文部省自然災害特別研究「フォッサ・マグナ北部地域における崩壊の発生機構と予知に関する研究」報告書, p.37-46.
- 塚本良則 (1984) : シンポジウム「巨大崩壊と河床変動」への序, 地形, 5 巻 3 号, p.151-154.
- 都司嘉宣 (1993) : 糸静線付近に起きた正徳 4 年 (1714) 信州小谷地震と安政 5 年 (1858) 大町地震の詳細震度分布, 日本地震学会講演予稿集, 1993 年 (2) p035.
- 土田勝義 (1996) : 安曇野の自然, 信濃毎日新聞社, 240p.
- 土本基 (1938) : 大系線稗田山と風吹岳の山崩れ, 鉄道省土質調査報告, 5 輯, p.172-175.
- 利根川晃義 (手記) : 能生地域の地すべりの記録.
- 中土小中学校 (1970) : 中土誌, 354p.
- 中野俊・竹内誠・吉川俊之・長森英明・苅谷愛彦・奥村晃史・田口雄作 (2002) : 白馬地域の地質, 1/5 万地質図, 産総研地質総合センター, 117p.
- 長野県 (1974) : 清水山地すべり, 94p.
- 長野県大町建設事務所 (1998) : 激災を乗り越えて, 239p.
- 長野県危機管理部 (2018) : 長野県神城断層地震 災害記録集 記憶をつなぐ 未来につなぐ, 114p.
- 長野県教育委員会 (1982) : 歴史の道調査報告書, VIII, -千国道-, 長野県文化財保護協会, p.43-54.
- 長野県建設部砂防課 (2009) : 長野県の地すべり 地すべり等防止法制定から 50 年の歩み 地すべりとの共生, 138p.
- 長野県砂防課 (1961) : 清水山地すべりについて. 6p.
- 長野県治水砂防協会姫川支部 (2017) : 砂防施設ガイドブック, 23p.
- 長野県治水砂防協会・長野県土木部砂防課 (2005) : 平成 16 年長野県内の土砂災害, 24p.
- 長野県土木部 (1995a) : 平成 7 年長野県北部 梅雨前線豪雨災害の記録, 95p.
- 長野県土木部 (1995b) : 長野県北部 7.11-12 梅雨前線豪雨災害.
- 長野県土木部 (1995c) : 長野県北部 7.11-7.12 梅雨前線豪雨災害~復興へ向けて~.
- 長野県土木部 (1995d) : 長野県北部 7.11 梅雨前線豪雨災害 土石流・地すべり・がけ崩れ速報.
- 長野県土木部 (1995e) : 長野県北部 7.11 梅雨前線豪雨災害 砂防関係事業効果状況速報.
- 長野県土木部 (1997) : 平成 7 年 7 月 11 日~12 日の梅雨前線豪雨災害 復旧の軌跡-災害関連緊急砂防事業-, 40p.
- 長野県土木部 (1998) : 平成 7 年 7 月長野県北部梅雨前線豪雨災害復旧の記録
- 長野県土木部砂防課 (1996) : 平成 7 年 7 月 梅雨前線豪雨における砂防激甚災害対策特別緊急事業.
- 長野県土木部砂防課・長野県姫川砂防事務所 (1996) : 清水山地すべり 平成 7 年度災害関連緊急地すべり対策事業.
- 長野県土木部長野建設事務所: 平成 7 年 7 月 11~12 日の梅雨前線豪雨による被害状況.
- 長野県長野建設事務所: 平成 7 年度災害関連緊急砂防等事業, 33p.
- 長野県姫川砂防事務所 (1963) : 昭和 38 年 8 月 姫川砂防の概況.
- 長野県姫川砂防事務所 (1972) : 清水山地すべり, 11p.
- 長野県姫川砂防事務所 (1981) : 昭和 56 年度地すべり対策工事 (地質調査) (長野県北安曇郡小谷村字葛草連). 明治コンサ

- ルタント株式会社
 長野県姫川砂防事務所（1984）：昭和 58 年度地すべり対策工事（調査委託）（小谷村葛草連地区）報告書。明治コンサルタント株式会社
- 長野県姫川砂防事務所（1988）：昭和 62 年度地すべり対策工事（調査委託）北安曇郡小谷村字大久保報告書。北陽建設株式会社
- 長野県姫川砂防事務所（2018）：土砂災害年表。
- 長野県姫川砂防事務所・長野県治水砂防協会姫川支部：姫川の砂防～魅力あふれる北アルプスの里をめざして～。
- 長野県林務部：平成 7 年 7 月梅雨前線豪雨災害 被害状況写真集 治山・林道。
- 長野県林務部治山課・長野県北安曇地方事務所林務課（1997）：長野県大北地域 1995.7/11,12 梅雨前線豪雨災害 みどりへの軌跡, 68p.
- 中村慶三郎（1955）：崩災と国土－地辻・山崩の研究－, 300p.
- 中村慶三郎（1964）：名立崩れ－崩災と国土－, 230p.
- 中村浩之・土屋智・井上公夫・石川芳治編（2000）：地震砂防, 古今書院, 190p.
- 新潟県糸魚川土木事務所：大所地すべり 災害関連緊急地すべり対策工事。
- 新潟県糸魚川土木事務所・財団法人砂防・地すべり技術センター（2000）：平成 11 年度 大所地すべり対策検討業務委託報告書, 182p.
- 新潟県土木部（1995）：平成 7 年 7.11 水害
- 新潟県土木部河川課・糸魚川土木事務所（1996）：よみがえれ！清流姫川, 8p.
- 新潟県土木部砂防課（1993）：新潟県砂防 50 選
- 新潟県土木部砂防課・糸魚川土木事務所（1993）：ロマンシングスペース ヒスイ峡。
- 新潟県西頸城郡教育會（1930）：西頸城郡誌, 770p.
- 新潟県農林水産部治山課（1979）：地すべり調査総括書Ⅱ－西頸城地域編－, 4-6 蒲池地すべり, p.77-82.
- 新田次郎（1977）：『劔岳・点の記』, 新潮社, 318p.文春文庫（1981）, 文春文庫新装版（2006）。
- 日本地形学連合（1984）：特集：巨大崩壊と河床変動, 地形, 第 5 巻, 第 3 号, 267p.
- 白馬小谷研究社（1997）：古道案内 塩の道千国街道, 88p.
- 白馬町百年誌編集委員会（1992）：白馬町百年誌, 231p.
- 「白馬の歩み」編纂委員会（1994a）：「白馬の歩み」（白馬村誌）, 4 巻 観光・登山・スキー編, 362p.
- 「白馬の歩み」編纂委員会（1994b）：「白馬の歩み」（白馬村誌）, 5 巻 写真編, 339p.
- 「白馬の歩み」編纂委員会（1996）：「白馬の歩み」（白馬村誌）, 1 巻 自然環境編, 618p.
- 「白馬の歩み」編纂委員会（2000）：「白馬の歩み」（白馬村誌）, 2 巻 社会環境編 上, 520p.
- 「白馬の歩み」編纂委員会（2003）：「白馬の歩み」（白馬村誌）, 3 巻 社会環境編 下, 518p.
- 白馬村：白馬村土砂災害危険区域図,
https://www.vill.hakuba.lg.jp/gyosei/kurashi_tetsuzuki/bosai_zen/bosaimap_hazardmap/2057.html ,
 （参照 2020-06-06）。
- 白馬村公民館（1970）：白馬のしるべ, 290p.
- 白馬村役場建設課（2001）：姫川流域災害（平成 7 年以前）に対するヒアリング調査
- 服部裕雄・井口博文（1999）：保存版大町・安曇の昭和史, 郷土出版社, 246p.
- 針生真也・三浦路子・三石晋・五十嵐正信・小林健一（2003）：大所地すべりの発生機構とその挙動, 日本地すべり学会誌, 40 巻, 2 号, p.41-44.
- 針生真也・三石晋・三浦路子・白石秀一・五十嵐正信・小林健一（2004）：GPS による大所地すべりの観測, 日本地すべり学会誌, 40 巻, 6 号, p.47-50.
- 稗田山崩れ 100 年事業実行委員会（2011）：『稗田山崩れ 100 年シンポジウム』, 40p.
- 姫川建設業協会：姫川流域平成 7 年豪雨災害復興の記録。
- 平林照雄・宮沢洋介・太田勝一・吉原恒夫・肥田博行（1985）：長野県姫川中流域の地すべり地形について, 地すべり, 22 巻 3 号, p.1-10.
- 副読本（姫川）作成委員会（2004）：ふるさと姫川・不思議ランド, 建設省北陸地方建設局 松本砂防工事事務所。
- 藤田至則・青木滋・佐藤修・高浜信行・鈴木幸治・池田伸俊（1986）：稗田山大崩壊の崩積土と崩壊の要因, 地質学論集, 28 号, p.147-159.
- 古谷尊彦（1996a）：ランドスライド, 地すべり災害の諸相, 古今書院, 215p.
- 古谷尊彦（1996b）：岩盤破壊のランドスライド, 月刊地球, 1996 年 6 月号, p.563-566.
- 古谷尊彦（1997）：地すべりと地形形成, -姫川流域の地形を例として-, 地すべり学会新潟支部シンポジウム, p.1-12.
- 細野繁勝（1923）：招魂碑の前に立ちて, 細野繁勝, 116p.

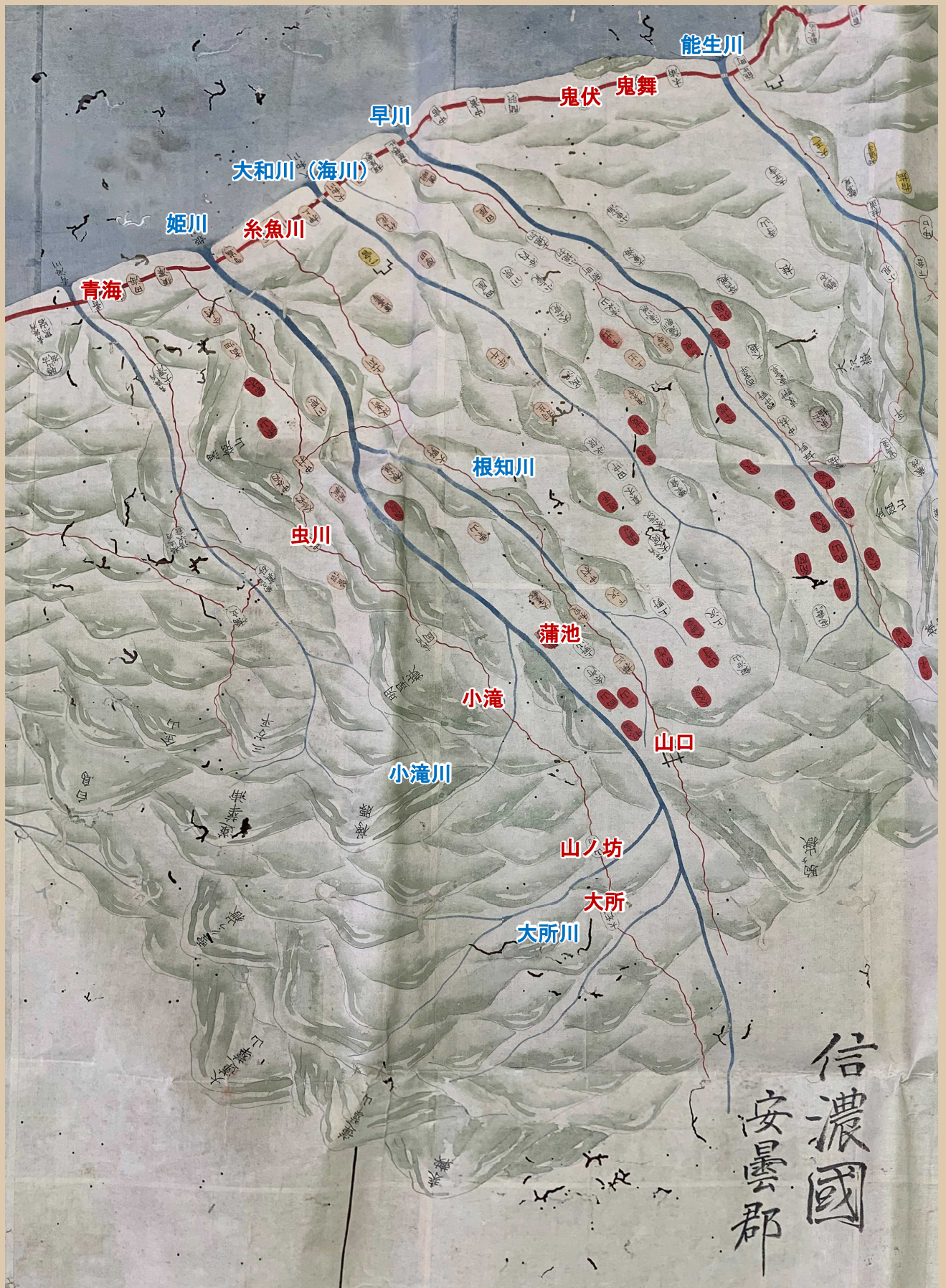
- 町田洋 (1964) : 姫川流域の一溪流の荒廃とその下流に与える影響, 地理学評論, 37 巻, p.477-487.
- 町田洋 (1967) : 荒廃山地における崩壊の規模と反覆性についての一考察-姫川・浦川における過去約 50 年間の浸食史と 1964~65 年の崩壊・土石流-, 水利科学, 55 巻, 11 巻 2 号, p.30-53.
- 町田洋 (1979) : 信濃川上流と姫川の自然と歴史, 信濃川上流砂防百年史編集委員会編「松本砂防のあゆみ」, 建設省北陸地方建設局松本砂防工事事務所, p.1-177.
- 町田洋 (1984) : 巨大崩壊, 岩屑流と河床変動, 地形, 5 巻 3 号, p.155-178.
- 町田洋 (2010) : 北アルプスとその周辺の地史及びそれらの第四紀学的意味, 沖津進・安田正二編著 (2010)『垂高山・高山域の環境変遷, -最新の成果と展望-』, 日本地理学会, p.3-11.
- Machida,H. (1966) : Rapid erosional development of mountain slopes and valleys caused by large landslide in Japan. Geogr. Rev. Tokyo Metropol. Univ., vol.1, p.55-78.
- 松多信尚・池田安隆・今泉俊文・佐藤比呂志 (2001) : 糸魚川-静岡構造線活断層系北部神城断層の浅部構造と平均地すべり速度, 活断層研究, 20 号, p.50-70.
- 松田時彦 (2001) : 糸魚川-静岡構造線と地震予知の現状, シンポジウム「糸魚川-静岡構造線と地震~住民・専門家・自治体による地震防災をめざして~」資料集, p.3-14.
- 松林正義 (1987) : 明治 44 年 (1911) 稗田山崩壊による姫川の河道埋塞, 全国防災研究会・二次災害防止研究会;『二次災害の予知と対策 No. 2』, p.15-35.
- 松本久志 (1995) : 平成 6 年発生の清水山地すべり災害について, 砂防および地すべり防止講義集, XXXV, 全国治水砂防協会, p.87-99.
- 松本宗順 (1948) : 来馬変遷三十八年史, 34p.
- 水山高久 (1984) : 山地河川の河床変動とその土砂水利学的取り扱い, 地形, 5 巻 3 号, p.179-203.
- 水山高久 (1998) : 姫川の大規模土砂流出と土砂管理, 河川, 628 号, p.8-13.
- 宮越英紀 (1985) : 大崩壊シリーズ-2 稗田山の巨大崩れ, 新砂防, 38 巻, 2 号 (139), p.28-30.
- 明治四十四年八月十三日ノ稗田山大地辻直前ノ来馬部落全景 (小谷村蔵)
- 望月巧一 (1971) : 小土山地すべりについて, 地すべり, 8 巻 2 号, p.44-48.
- 望月巧一 (1974) : 地すべりによる地形変形の様相 長野県清水山地すべりの例, 東北地理, 26 巻 2 号, p.108-115.
- 望月巧一 (1982) : 清水山, アーバンクボタ, No.20, p.24-25.
- 森俊勇・井上公夫・坂口哲夫 (2011) : 『日本の天然ダムと対応策』, 水山高久監修, 古今書院, p.88-103.
- 八木貞助 (1949) : 姫川流域の砂防治水に関する調査報告, 長野県治水砂防協会, 83p.
- 矢口大輔 (2005) : 柵池地すべりの概要と対策, 第 44 回日本地すべり学会研究発表会, p.105-106.
- 山浦直人 (2010) : 『馬車交通による近代道路改修事業成立に関する研究-明治期における長野県の道路技術と技術者-』, 日本大学博士 (工学) 論文, 本文 224p., 資料, 92p.
- 山岸正徳 (1977) : 清水山地辻状況調書, 11p.
- 山下昇・小坂共栄・矢野賢治 (1985) : 長野県青木湖北岸の佐野坂山の崩壊堆積物, 信州大学理学部紀要, 20 巻 5 号, p.199-210.
- 横山又次郎 (1912) : 長野県下南小谷村山崩視察報告, 地学雑誌, 24 巻, p.608-620.
- 吉住安夫 (1993) : 新潟県の地すべり 砂防課 (建設省所管)における地すべり, 地すべり, 第 30 巻, 第 3 号, p.15-22.
- 渡辺正幸 (1984) : 浦川流域における 1911 年の巨大崩壊と現在の砂防計画, 地形, 5 巻 3 号, p.215-230.
12. 6 蒲原沢土石流災害調査委員会 (1997) : 12. 6 蒲原沢土石流災害調査委員会調査委員会報告書 (要約), 砂防学会ホームページ, p.1-9.
- 2014 年長野県北部の地震に関する調査団 (2015) : 日本地震工学会 2014 年長野県北部の地震に関する調査団報告, 109p.

姫川流域 大規模土砂災害史

令和3（2021）年3月22日

国土交通省北陸地方整備局

松本砂防事務所



頸城郡古図_1115-766-1 (上越市公文書センター蔵)